

子どもの歌と表現Ⅱ 東元・若宮・佐山・舘岡・渡辺・田中・宮崎

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

子どもの歌と表現Ⅰを踏まえ、現場で必要とされる子どもの歌を課題曲とし、子どもの姿を具体的にイメージしたり、子どもが歌の楽しさを感じるような表現活動を含めて指導する。授業形態は、子どもの歌と表現Ⅰと同様、全体授業とグループ別個人レッスンを並行して行う。全体授業では、季節の歌、生活の歌、行事に関する歌等、主にハ長調以外の曲を課題として扱う。各教員の、演奏者、子どもへの音楽指導、保育現場での音楽遊び指導としての経験を生かし、授業内では、歌唱及び伴奏法に関わる事柄についても指導する。

授業計画

第1回	ガイダンス 音楽知識と理論の確認	(個人レッスン)
第2回	(全体授業) ヘ長調コード付けの理論と方法	(個人レッスン)
第3回	(全体授業) コード演習「ぞうさん」	(個人レッスン)
第4回	(全体授業) 「たなばたさま」	(個人レッスン)
第5回	(全体授業) 「山の音楽家」	(個人レッスン)
第6回	(全体授業) 「雪」	(個人レッスン)
第7回	中間筆記・実技試験	(個人レッスン)
第8回	(全体授業) ト長調コード付けの理論と方法	(個人レッスン)
第9回	(全体授業) 「幸せなら手をたたこう」	(個人レッスン)
第10回	(全体授業) 「うみ」	(個人レッスン)
第11回	(全体授業) 二長調コード付けの理論と方法	(個人レッスン)
第12回	(全体授業) 「おはようのうた」	(個人レッスン)
第13回	(全体授業) 「おつかいありさん」	(個人レッスン)
第14回	(全体授業) 「とけいのうた」	(個人レッスン)
第15回	(全体授業) コード付けのまとめ	(個人レッスン)
第16回	実技試験	

到達目標

- ・曲を理解し、子どもの姿をイメージして弾き歌いができる。
- ・ヘ長調、ト長調、二長調の課題曲について、コード付けの理論と実践方法とを結び付け、自身で伴奏をつけることができる。
- ・課題曲習得に向けて、自身の課題を明確にし、計画的に実践することができる。

履修上の注意

- ・演奏の妨げにならないよう、爪を短く切ること。
- ・毎回、到達度カードに記入し、課題状況を確認すること。
- ・授業資料は、ファイリングしておくこと。

予習・復習

- ・必ず、自主練習を行い、授業に臨むこと。
- ・授業における学びを確実なものにするため、必ず復習をすること。

評価方法

- ・期末試験50%、中間試験20%、提出物及び課題の取り組み30%を総合して評価する。

テキスト

- ・教科書名：『改定ポケットいっぱいのおうた』
- ・著者名：鈴木恵津子, 富田英也
- ・出版社名：教育芸術社
- ・ISBNコード：978-4-87788-485-7

※その他、個別に講師と相談の上、使用テキストを決定する。